

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部

生涯学習推進担当

課

生涯学習課

施設名称	〔46〕東京都台東区立小島社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社		指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他35施設					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益(単位:百万円)			
	24年	59,785	48,150	11,634		
	25年	61,887	49,624	12,263		
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区小島1-5-2 (都営小島ビル2F)					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日:火～日曜:9:00～22:00 月曜:13:00～22:00 休館日:年末年始(12/28～1/4) 設備点検日					
(5)規模	ホール:100名(129㎡) 第一和室:15名(57㎡) 第二和室:30名(70㎡) 第一会議室:30名(51㎡) 第二会議室:20名(25㎡) 第三会議室:20名(25㎡)					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2)自主事業	5講座実施 延べ10回 延参加人数 99人					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	14,456,000	14,146,000	14,098,000	16,783,000	16,624,000
	利用料金収入	2,010,000	2,210,000	2,450,000	1,600,000	1,670,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,466,000	16,356,000	16,548,000	18,383,000	18,294,000
決算	委託料	14,456,000	14,146,000	14,098,000	16,783,000	16,624,000
	利用料金収入	1,764,830	1,749,380	1,664,050	1,762,605	1,801,150
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,220,830	15,895,380	15,762,050	18,545,605	18,425,150
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
年間開館日数		日	342	343	339	340
自主事業等講座数		講座	18	18	17	14
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
利用率		%	34.8	30.4	33.0	34.8
利用人数		人	25,200	22,595	23,649	24,915

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

委託事業であるラーニングスクエアでは「七宝焼き」など、ものづくりの地域に根ざした講座を実施し、自主事業では「帆布の手作りミニバック」や「銀のゆびわをつくろう」など、地域の人材を活かした講座を実施し、好評を得た。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	地域がものづくりのまちであることから、地域に根ざした講座や地域の人材を活かした講座を実施している。また、託児付きの講座を実施し、20～30代の若年世代の参加者増加に繋げるなど、適切な事業運営を行っている。
(2)施設の維持管理	A	照明器具の間引き点灯等、節電対策を講じている。また、危険箇所の有無について、利用者の目線で危険予知と防対策を講じている。
(3)利用者の満足度	A	熱中症防止のため、温湿度計や冷たいタオルを設置・常備しており、安心して施設を利用できるとの声が多く、好評を得ている。
(4)収入支出	A	こまめな節電に努めるとともに、館内の小修繕は職員が行うなど経費削減に努めている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不達

妥当	地域に根ざした講座や地域の人材を活用した講座を実施するなど、利用者の増加に努めている。利用者の安全と安心に配慮した環境整備に取り組んでおり、適切な施設運営を行っている。
-----------	--

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

利用者により一層満足いただける施設を目指し、託児付き講座の充実や適切な施設の維持管理に努めていく。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、多様な言語や文化、オリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。